

なのhana



岡崎市立六ツ美中部小学校
校長室だより No.10
令和3年11月1日(月)



実りの秋を実感しよう

六中小には実のなる木がたくさんあります。今、北舎と南舎の間に柿が実っています。家庭でも庭木としてよく育てられています。柿は比較的育てやすく、家庭果樹には適しています。食物繊維やビタミンCなど、豊富な栄養素が含まれていて甘いので好きな人も多いでしょう。また、運動場のジャングルジムのあたりにはみかんと柚子が実っています。みかんにもビタミンCが含まれているので、皮膚の健康を保ったり、風邪にかかりにくい体を作ってくれたりします。柚子の実は10個ほどですが、食用のほかお風呂にも入れて「柚子湯」を楽しんだりもします。



<かきの実>



<ゆずの実>



<みかんの実>

私が小学生の頃は、学校でとれた果樹の実の子供たちで食べたり、家に持ち帰ったりしたのですが、今は、アレルギーの関係や衛生面等の理由でそういうことがやりにくくなっています。しかしみなさん、実りの秋はしっかり実感してください。

学校で実ったものは収穫して、さらにおいしくなるのを待ちたいと思います。

委員会の活動が進んでいます

後期の委員会の子たちがいろいろな活動をしています。給食委員会は、毎日の給食の献立を紹介し、その献立に使われている食材をもとにした楽しい話題を放送しています。美化委員会では、「トイレのスリッパをそろえよう」と、ポスターを描いて全校に呼びかけています。図書委員会では、明日から始まる「秋の読書週間」で本に関するクイズを出し、その答えがのっている本を図書室に並べて読書の関心を高めようと工夫します。また、環境委員会ではプルタブ集め



をして福祉活動に役立てることを企画しています。一部の紹介ですが、どの委員会もよく頑張っています。委員会のみなさん、これからもよろしくお願ひします。